

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 4 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493100063		
法人名	サンキ・ウエルビィ 株式会社		
事業所名	サンキ・ウエルビィ グループホーム坂		
所在地	広島県安芸郡坂町坂東2丁目23番8号 (電話) 082-824-7966		
自己評価作成日	令和2年3月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3493100063-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年3月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様が笑顔で、安心して過ごして頂けるように、施設内での行事を工夫し、介護度の重い方にも参加頂いております。毎日のレクリエーションやミニゲーム・個々に出来る事の支援等を認知症の専門職として、知識と根拠に基づいたケアをスタッフ全員が共有し、利用者様それぞれにスタッフが同じ質のケアが行えるよう、お互いに注意し合い、話あえる環境があります。認知症カフェや外部の研修機関からの施設実習を積極的に、受け入れることで、風通しの良いグループホームです。スタッフ間での研修や、お互いが刺激し合える関係により、お互いのスキルを高めより良いケアを行けるよう研鑽してまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営推進会議には町役場職員、女性会会長、地域包括支援センター、民生委員等多くの方が参加され、状況報告、行事や活動報告等を行い、様々な意見を頂き運営に活かしている。地域の祭りや小学校の運動会、地域のサロンに利用者が出掛けることや事業所で認知症カフェを2ヶ月に1回、収穫祭を年1回開催し、地域の住民の方の参加があるなど、活発に地域交流を図っている。体操は施設で作成したDVDを流し行っており、レクリエーション、ゲームも利用者全員が参加できる内容を工夫しており、有する能力を活かしながら、楽しく実施されている。研修は年間計画を立て、施設内研修はスタッフが講師を持ち回りで行い毎月実施しており、全スタッフが参加できるように調整し、難しい場合は資料の配布や伝達研修等を行い、知識・技術の習得に努めており、より良い支援を行えるように体制を整えている。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」という会社の理念を基に、地域に必要とされるグループホームを目指し、「お互いを認め合う」「思いやりの心」「いつも笑顔で」を開設時にスタッフ全員で話し合い決めました。毎日の朝礼では、会社理念と基本方針の唱和・レクリエーション時には、施設理念を唱和し、目指すものを確認しています。	会社理念、基本方針は朝礼時にスタッフが唱和し、施設理念はスタッフ・利用者が一緒に唱和しており、スタッフ一人ひとりが理念を理解、周知している。理念に基づき、事業所の年間目標、スタッフの半期ごとの目標を設定しており、実践に努めている。目標達成への進捗状況を管理者がスタッフに聞いたり、個別面談で振りかえる機会も設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	地域のお祭りやサンスターホールのサロンへ参加して楽しんで頂いています。参加した地域の知人の方々と会話を楽しまれます。	町役場、小学校、民生委員など各方面から地域の行事の案内や情報を定期的に頂き、とんど、祭り、小学校の運動会、ホールでのコンサートなど数多く参加している。また、施設で開催される2ヶ月に1回の認知症カフェ、年1回の収穫祭に地域住民の参加があり、日常的に地域との交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症カフェを2か月に1回開催し、地域で生活されている認知症の方や、ご家族様と一緒に物作りを楽しまれたり、認知症についてのミニ勉強会を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町役場職員・地域包括支援センター・民生委員・地域の役員の方々に参加頂き現状の報告・問題点の提議を行い、一緒に考えて頂いたりアドバイス頂き改善に取り組んでいます。地域の行事の情報を受け、利用者様の行事予定を立てています。	運営推進会議には民生委員、女性会会長、町役場・地域包括支援センター職員等が参加している。会議では事業所の状況報告、行事や活動報告等伝えており、参加者から防災、誤薬防止、事故防止など様々な意見や助言を受け、実践に取り入れることが多くあり、運営に活かしている。	運営推進会議に家族の参加がなく、日程を調整したり、会議開催の案内をするなど参加しやすいように工夫し、家族の立場からの意見を施設の運営、サービス向上に活かせることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議での報告も含め、現状報告や事故報告を行っています。感染症の発生時には、すぐに連絡し対応も報告しています。入居・退去には連絡票を提出しています。様々な申請時にも相談し、対応頂いています。	運営推進会議に町役場保険健康課職員、地域包括支援センター職員が参加されるため、直接施設の日頃の状況、取り組みなどを伝えている。町役場には感染症発生の報告や対応方法について意見を頂いたり、地域包括支援センターとは認知症カフェの開催に毎回参加されるなど密に連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全社員、身体拘束についての研修を必須とし、利用者様お一人おひとりのケア手順の確認・居室の環境整備も含めて、身体拘束をしないケアを行っています。夜間のみ防犯のため玄関の施錠を行っています。	定期的な研修を行い「身体拘束をしないケア」について職員が正しく理解しており、実践につなげている。転倒のリスクのある利用者について、スタッフ間で話し合い、家族に了解を得た上で居室にクッションマットを敷いたり、ベッドから布団に変更するなど行動を制限せず、対応で工夫した例がある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の研修を全員参加の必須要件としている。具体的な事例や、どの様な行為が虐待となるの確認しています。何故その様な行為をしたのかを含め考え、原因となるような要因を作らない様、皆で注意し合える関係を作っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎月ある現任研修により、権利擁護について学び、成年後見制度の内容を知り、必要とされる利用者様への情報提供や、様々な支援制度についても勉強する機会を作っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前から、しっかり話のできるような関係作りを心掛け、契約時には時間をしっかり取り、疑問等丁寧に説明させて頂きます。後日の質問にも真摯に対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	1年に一度は家族懇親会を開催し、ご意見を伺い、拠点会議やフロア会議を通じ、スタッフ間で情報共有し運営へ反映させています。	年に1回の家族懇親会や面会時など家族に意見、思いを伺うなどの機会を設けている。家族から「スタッフの名前が分からない」という意見をもとにホワイトボードにスタッフの名前、顔写真を掲示することや、要望により買物による外出を行ったこともある。本人、家族の意見、要望を取り入れ運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、スタッフからの意見には耳を傾け、スタッフ全員での話し合いが必要な場合は拠点会議に、各フロアでの話し合いにはフロア会議へと議題として話合います。	拠点会議が月1回、フロア会議は随時実施しており、会議の場や日頃の業務の中でも管理者は職員から意見、要望を聞く機会を設けている。職員からの意見でセンサーの購入や広報誌をリニューアルし作成したことなど例がある。職員の貴重な意見に耳を傾け、運営に活かせる体制を整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	1年度を半期に分け、正社員は、半期毎の目標を設定して取り組んでいます。パートの方も1年ごとの目標があり、成果を提出し自分自身のスキルを目で見える形で上げています。個人面談を随時行い、目標の確認を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月の現任研修を行い、講師を交代で務め、お互いに技量を高めています。本社での研修にも積極的に送り出し、課題の取り組みも助言しています。スキルアップのための研修も提示し、参加する機会を持ってもらっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	坂町・海田町の合同の研修等に積極的に参加しております。多職種連携の研修も開催されており、相互の知識の向上や、ネットワーク作りを行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時には、ご本人ご家族とのカンファレンスを行い、ご本人の状況や、思い・意向に沿えるような支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族からは、申込時より入居を思われるまでの状況や、入居に対する不安や葛藤をしっかりと聞きしていきます。入居時には、その思いを念頭に、これからの事への要望・ご意見に耳を傾けていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて社内外のサービスや支援の情報を紹介したり、福祉制度等、必要と思われる情報を提供させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	スタッフも利用者様と一緒に生活を送る家族として、お互いを認め合える関係を築いていきます。できる事をできる人に、お願いし、それを感謝する気持ちが持てる関係を築きます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様へ、機会ある時にご様子をお伝えし共に支え合う者として、ご家族様との信頼関係を築くよう努めています。どの様に支援を行っていくのか、常にご家族様へ相談し話し合い、お互いがご本人を支える者として認識できるよう努めます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域の行事に参加したり、小学校の行事には招待状を頂き、できるだけ参加しています。認知症カフェにも参加頂き、接待のお手伝いをお願いしている。顔見知りの方が見えられ、会話されることもあります。	本人、家族から馴染みの人や場所の情報を得ており、地域の祭りや認知症カフェなどで近所の人や知人と顔を合わせて交流を図ることがある。また、「自宅に服を取りに帰りたい」という本人の意向に自宅に帰ることや、家族の協力によりお盆、正月の自宅への外出などもある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事や、おやつにはダイルームに出て来て頂き一緒に召し上がって頂きます。レクリエーションや散歩では、お互いに声掛け合いながら参加して頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族様から電話頂いたり、入院先の病院からの連絡に、ご家族様への連絡を引き継ぎ、ご本人の急変をお知らせします。街中で、お会いした時には、近況をお話します。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の生活の様子や、嗜好品・趣味等お聞きし、今の生活の中へ取り入れるようにします。レクリエーションの時間に皆さんで、できるよう工夫しています。	本人、家族より生活歴や意向を伺い支援しており、スタッフ間で情報を共有し、食後にコーヒーを出したり、レクリエーションで折り紙をしたり、食事づくりなど個々の利用者に応じた対応につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	カンファレンスを随時行っており、ご家族の方と、ご家族との暮らしや、これまでの生活歴をお聞きし、ご家族様からの思い等お聞きしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	レクリエーションや、会話の中で、ご本人の意向を確認したり、家事の手伝いや、ゲームをされた時の様子で現状の力を把握しています。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご家族・スタッフとのカンファレンスを随時行っており、ご家族様へは、ご本人の現状を聞いて頂き、これからの支援についてのご希望等をお聞きし、計画にいかしています。</p>	<p>本人、家族の意向をもとにスタッフに意見を聞き介護計画作成者が介護計画を作成している。医療依存度の高い利用者については、医師にも意見を伺っており、現状に即した介護計画を作成している。会議には関係スタッフ、可能な限り家族も参加しており、情報共有が図られ、統一した支援を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>支援経過に日々の様子を記録し、職員間で内容を共有しています。計画の見直し時には、気づきや、実践した結果を記録していき、次の計画作成時には、スタッフが状況を把握し、会議に臨めるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>西日本豪雨災害時には、ご家族様が買物に行けないために、ご本人の物品が不足になったため、急遽、金銭預かりをお願いしました。受診が難しくなり、主治医と相談し、他医院の先生へお願いし、薬を出して頂きました。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域包括支援センター・小学校・サンスターホール・町役場・民生委員より行事等の日程の連絡頂き、参加ができる利用者様をお連れしたり、ご家族様へ声掛けさせて頂くこともあります。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>長年、通院されていた医院へ継続してお願いしています。受診の難しくなられた利用者様には、往診して頂けるように、主治医へお願いしています。</p>	<p>本人、家族に意向を伺いかかりつけ医を決めており、入居前から医院を継続している場合が殆どである。家族が付き添い受診しているが、都合により難しい場合は施設が対応している。また、主治医・ご家族・介護支援専門員・介護職との話し合いの上往診にも来ていただいている。定期的な往診や急な体調不良時の対応も可能である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	各ユニットへ1名ずつ看護師が配置されており、医療面での体調管理や、主治医との連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に施設の生活状況の情報提供をおこなったり、現在の治療の状況をお聞きしたり、その時々状況に応じて、看護師や管理者が病院へ訪問できるよう関係づくりを行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時の契約時に、重度化した時の指針を文書にてご説明しています。その上で、重度化が予測される場合、ご家族・主治医・看護師・介護職とで、十分な話し合いをもち、支援に取り組んでいます。	重度化した場合の指針や看取りについての施設の方針などを入居時に家族に説明して文書で同意を得ている。看取りを希望された場合は家族を含め各関係者でカンファレンスを行い、方針を共有して、プランを作成している。プランは1日の過ごし方が細かく記入され、それに基づいた支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故発生時の対応について、現任研修等で研修し、実践できるよう努力しています。緊急時の対応は個別の内容をファイリングしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火・防災マニュアルを常備しています。防災訓練は年2回実施しています。地域での防災の研修には積極的に参加し、地域ぐるみの防災への協力体制を整えるようにしています。	防災訓練を年2回実施し、民生委員、地域の消防団の参加もある。火災だけでなく、水害も想定しての訓練も実施しており、有事に備え食料品、飲料水などの備蓄もある。災害時は町役場に連絡し、消防団が施設に応援に来られることになっており、地域との協力体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報保護の観点から社内運用規定に則り、個人情報の扱いには、細心の注意を払っています。日常のケア時(排泄・入浴・清拭)プライバシー保護に努めています。	全職員対象に現任研修を年間を通じて実施しており、倫理、接遇、プライバシーなどの内容も含まれている。職員一人ひとりが利用者の人格を尊重し、接遇を行っている。排泄、更衣時などケア前に最初に何を行うか利用者に声掛けをしたり、服を脱ぐ際ドアを閉めるなど配慮しながら支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の気持ちを表して頂けるような関係を築けるよう努力しています。答えを急がず、個々のペースに合わせた会話を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースや体調を考慮しながら、日々の支援の声掛けを行っています。前向きな生活になるような支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日その日に着る服を、決めて頂いています。清潔を心がけ、一緒に服装を整え、整髪しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々にできる事を、ご自分のペースで手伝って頂いています。食材を切ったり、食器の後片付けをして頂けるよう支援しています。行事メニュー作成時にはご自身のアイデアを出して頂いています。	食事は利用者が盛りつけを手伝ったり、行事メニューの際利用者の意向やアイデアも取り入れちらし寿司を料理したり、おやつレクでおはぎ、プリン作りをスタッフと一緒にすることもあ。また、金柑やらっきよを漬けることもあり、利用者の力を活かしながら食事を楽しむことができるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量・水分量・排泄を記録していき、現在の状況が判るようにしています。その方の生活に合った支援や食事内容になっています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後は、必ず口腔ケアをおこなっています。ご自身でのケアが難しい方には、支援をおこなっています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンが判るよう、記録しています。トイレの支援方法の検討も、ご家族やご本人と相談しながら支援を行います。</p>	<p>個々の排泄データを基にパターンやタイミングをみながらトイレ誘導をしているが、座位姿勢など難しい場合はベッド上でパット交換を行っている。トイレには手すり、姿勢保持テーブルが備え付けられており、排泄動作で自分でできる部分は行ってもらうように声掛けしており、自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>1日の内1回は、散歩の時間を設け、スタッフと一緒に施設周囲や公園へ散歩に行きます。個々の体力や歩行の様子により距離や、方法を考えます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>現状では、利用者様のタイミングでの入浴は難しいのですが、一人で入られる方にはなるべく、その方のペースで入浴して頂いています。</p>	<p>入浴は基本的に週2回実施し、入らない日は陰部清拭若しくは全身清拭を行っている。入浴の際は本人の意向を尊重し、湯船に長く浸かったり、シャンプーを2回するなど個々の生活習慣に応じた対応を行っている。入浴拒否のある利用者は無理強いせず声掛けなど工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	居室へ戻られてからは、利用者 様の自由に時間を使って頂き、ご 自分の睡眠のリズムに合わせて眠 られています。午前・午後にベッ ドへ横になられる時間を設けて います。皆さん高齢ですので、 体を休める・動かすというメリ ハリのある生活を送られるよう 支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	主治医・ご本人・ご家族・看護 師が、ご本人の体の状態を考え ながら薬を処方・服薬されてい ます。薬については、看護師や 主治医から説明があり、変更時 には、薬についての説明もお聞 きしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	洗濯干し・洗濯物たたみ・食 材を切る等、個々の力に応じた 役割をお願いします。季節に応 じイベントを計画し、一緒に準 備していきます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	地域の行事には、できるだけ皆 さん参加できるよう事前に計 画します。家に帰りたいと希望 される方へは、ご家族様と相 談し、日帰りや外泊を計画しま す。	日々の散歩やベランダでの日 向ぼっこで外気に触れることは もとより、地域の祭りや小学 校の運動会、サントリーホール でのサロンに出掛けたり、花 見や買物、車でのドライブなど 豊富な外出支援に取り組んで いる。また、家族協力のもと 盆、正月などでの自宅での外 出もあり、日常的な外出支援 を実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	ご本人が自由に使えるお金は 、お預かりしておりません。個 々の買い物は、ご家族様へお 願いしております。レクの一 つとして、スタッフと一緒に、 施設の買い物や、おやつを買 物して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>手紙を書かれたら、ポストまで一緒に投函に行かれています。年賀状を書かれ、ご家族様へ出して頂いています。電話をかけたいと希望される時には、施設の電話を使用して頂きます。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>冷暖房を完備し、乾燥期には、加湿器を常時稼働させています。壁飾りには、利用者様の作品を飾ったり、居室には、ご家族やご本人の持ち物や、気に入られている飾りや持ち物を置かれています。</p>	<p>建物は南向きに位置し日当たりも良く、明るい環境で、ひなまつり、七夕など季節ごとに利用者が作成した作品が飾られており、暖かい雰囲気である。また、ソファで寛いだり、テレビを見たり、毎日のレクリエーションを行ったり、楽しみを持ちながら居心地よく過ごせるよう努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>混乱を避けるために、机へ各々の名前を貼らせて頂いているが、ゲームをしたり、家事をされたり、話をされたり、ご自分達が思い思いの場所で生活されています。ご自分から行きたい場所を言われる時には、お連れしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内へは、ご自分やご家族様が持って来られて家具と寝具を置いています。居室は、自由に使って頂いています。</p>	<p>ベッド、エアコン、カーテンは施設の備え付けで、タンス、布団、椅子など馴染みの家具や調度品、趣味の品々などを持ち込み家庭さながらの自由なレイアウトを楽しんでいる。利用者によっては家族写真を飾り、落ち着いた過ごせる環境であるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下や共有スペースへは、低い物を置かないようにし、安全に自由に動いて頂けるように配慮しています。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」という会社の理念を基に、地域に必要とされるグループホームを目指し、「お互いを認め合う」「思いやりの心」「いつも笑顔で」を開設時にスタッフ全員で話し合い決めました。毎日の朝礼では、会社理念と基本方針の唱和・レクリエーション時には、施設理念を唱和し、目指すものを確認しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭りやサンスターホールのレストランへ参加して楽しんで頂いています。参加した地域の知人の方々と会話を楽しまれます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症カフェを2か月に1回開催し、地域で生活されている認知症の方や、ご家族様と一緒に物作りを楽しまれたり、認知症についてのミニ勉強会を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町役場職員・地域包括支援センター・民生委員・地域の役員の方々に参加頂き現状の報告・問題点の提議を行い、一緒に考えて頂いたりアドバイス頂き改善に取り組んでいます。地域の行事の情報を受け、利用者様の行事予定を立てています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議での報告も含め、現状報告や事故報告を行っています。感染症の発生時には、すぐに連絡し対応も報告しています。入居・退去には連絡票を提出しています。様々な申請時にも相談し、対応頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全社員、身体拘束についての研修を必須とし、利用者様お一人おひとりのケア手順の確認・居室の環境整備も含めて、身体拘束をしないケアを行っています。夜間のみ防犯のため玄関の施錠を行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の研修を全員参加の必須要件としています。具体的な事例や、どのような行為が虐待となるの確認しています。何故その様な行為をしたのかを含め考え、原因となるような要因を作らない様、皆で注意し合える関係を作っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎月ある現任研修により、権利擁護について学び、成年後見制度の内容を知り、必要とされる利用者様への情報提供や、様々な支援制度についても勉強する機会を作っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前から、しっかり話のできるような関係作りを心掛け、契約時には時間をしっかり取り、疑問等丁寧に説明させて頂きます。後日の質問にも真摯に対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	1年に一度は家族懇親会を開催し、ご意見を伺い、拠点会議やフロア会議を通じ、スタッフ間で情報共有し運営へ反映させています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、スタッフからの意見には耳を傾け、スタッフ全員での話し合いが必要な場合は拠点会議に、各フロアでの話し合いにはフロア会議へと議題として話合います。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	1年度を半期に分け、正社員は、半期毎の目標を設定して取り組んでいます。パートの方も1年ごとの目標があり、成果を提出し自分自身のスキルを目で見える形で上げています。個人面談を随時行い、目標の確認を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月の現任研修を行い、講師を交代で務め、お互いに技量を高めています。本社での研修にも積極的に送り出し、課題の取り組みも助言しています。スキルアップのための研修も提示し、参加する機会を持ってもらっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安芸地域4町の合同の研修等に積極的に参加しております。多職種連携の研修も開催されており、相互の知識の向上や、ネットワーク作りを行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時には、ご本人ご家族とのカンファレンスを行い、ご本人の状況や、思い・意向に沿えるような支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族からは、申込時より入居を思われるまでの状況や、入居に対する不安や葛藤をしっかりお聞きしていきます。入居時には、その思いを念頭に、これからの事への要望・ご意見に耳を傾けていきます。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要に応じて社内外のサービスや支援の情報を紹介したり、福祉制度等、必要と思われる情報を提供させていただきます。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>スタッフも利用者様と一緒に生活を送る家族として、お互いを認め合える関係を築いていきます。できる事をできる人に、お願いし、それを感謝する気持ちが持てる関係を築きます。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様へ、機会ある時にご様子をお伝えし共に支え合う者として、ご家族様との信頼関係を築くよう努めています。ご家族と共に過ごされてきた時間は、ご本人にとって支えであり、絆を大切にされていることを、お伝えしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域の行事に参加したり、小学校の行事には招待状を頂き、できるだけ参加しています。認知症カフェにも参加頂き、接待のお手伝いをお願いしています。顔見知りの方が見えられ、会話されることもあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事や、おやつにはダイルームに出て来て頂き一緒に召し上がって頂きます。レクリエーションや日光浴では、お互いに声掛け合いながら参加して頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族様から電話頂いたり、街中で、お会いした時には、近況をお話します。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の生活の様子や、嗜好品・趣味等お聞きし、今の生活の中へ取り入れるようにします。レクリエーションの時間に皆さんで、できるよう工夫しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	カンファレンスを随時行っており、ご家族の方と、ご家族との暮らしや、これまでの生活歴をお聞きし、ご家族様からの思い等お聞きしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	レクリエーションや、会話の中で、ご本人の意向を確認したり、家事の手伝いや、ゲームをされた時の様子で現状の力を把握しています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご家族・スタッフとのカンファレンスを随時行っており、ご家族様へは、ご本人の現状を聞いて頂き、これからの支援についてのご希望等をお聞きし、計画にいかしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	支援経過に日々の様子を記録し、職員間で内容を共有しています。計画の見直し時には、気づきや、実践した結果を記録していき、次の計画作成時には、スタッフが状況を把握し、会議に臨めるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	西日本豪雨災害時には、ご家族様が買物に行けないために、ご本人の物品が不足になったため、急遽、金銭預かりをお願いしました。受診が難しくなれば、主治医と相談し、他医院の先生へお願いし、薬を出して頂きました。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域包括支援センター・小学校・サンスターホール・町役場・民生委員より行事等の日程の連絡頂き、参加ができる利用者様をお連れしたり、ご家族様へ声掛けさせて頂くこともあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	長年、通院されていた医院へ継続してお願いしています。受診の難しくなられた利用者様には、往診して頂けるように、主治医へお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	各ユニットへ1名づつ看護師が配置されており、医療面での体調管理や、主治医との連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に施設の生活状況の情報提供をおこなったり、現在の治療の状況をお聞きしたり、その時々状況に応じて、看護師や管理者が病院へ訪問できるよう関係づくりを行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時の契約時に、重度化した時の指針を文書にてご説明しています。その上で、重度化が予測される場合、ご家族・主治医・看護師・介護職とで、十分な話し合いをもち、支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故発生時の対応について、現任研修等で研修し、実践できるよう努力しています。緊急時の対応は個別の内容をファイリングしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火・防災マニュアルを常備しています。防災訓練は年2回実施しています。地域での防災の研修には積極的に参加し、地域ぐるみの防災への協力体制を整えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報保護の観点から社内運用規定に則り、個人情報の扱いには、細心の注意を払っています。日常のケア時(排泄・入浴・清拭)プライバシー保護に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の気持ちを表して頂けるような関係を築けるよう努力しています。答えを急がず、個々のペースに合わせた会話を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースや体調を考慮しながら、日々の支援の声掛けを行っています。前向きな生活になるような支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご家族が持って来て頂いた服を、スタッフが選び、ご本人へ確認して来て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	介護度が上がり、調理等の手伝いは難しくなっているが、行事のメニュー作成には、意見を伺ったり、アイデアを、お聞きしたりしています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量・水分量・排泄を記録していき、現在の状況が判るようにしています。その方の生活に合った支援や食事内容になっています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>起床時には，洗顔と一緒に歯磨きやうがいを行います。食後は，必ず口腔ケアをおこなっています。ご自身でのケアが難しい方には，支援をおこなっています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンが判るよう，記録しています。トイレの支援方法の検討も，ご家族やご本人と相談しながら支援を行います。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分の摂取量・排泄を記録していき，一日の水分量・排泄の周期を把握していく。その方に応じたアプローチを行っています。散歩の後やレクの後，水分補給を行っています。個別に飲み物を用意することもあります。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>介護度の高い方が多く，2人のスタッフで入浴して頂いています。シャワー浴ではなく冬場は特に湯舟に入ってもらえるような支援を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	居室へ戻られてからは、利用者 様の自由に時間を使って頂き、 ご自分の睡眠のリズムに合わ せて眠られています。午前・午 後にベッドへ横になられる時 間を設けています。皆さん高 齢ですので、体を休める・動 かすというメリハリのある生 活を送られるよう支援してい ます。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支 援と症状の変化の確認に努め ている。	主治医・ご本人・ご家族・看 護師が、ご本人の体の状態を 考えながら薬を処方・服薬さ れています。薬については、 看護師や主治医から説明があ り、変更時には、薬についての 説明もお聞きしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている。	個々の役割を持って頂き、生 活に張りがあり、やりがいを持 って頂きます。楽しみにでき るイベントを企画したり、外 出の計画を一緒に考えたりし ています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	地域の行事には、できるだけ 皆さん参加できるよう事前に 計画します。家に帰りたいと 希望される方へは、ご家族 様と相談し、日帰りや外泊を 計画します。		
50		○お金の所持や使うことの支 援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	ご本人が自由に使えるお金 は、お預かりしておりませ ん。個々の買い物は、ご家族 様へお願いしております。レ クの一つとして、スタッフと一 緒に、施設の買い物や、おや つを買物して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年賀状を書かれ、ご家族様へ出して頂いています。電話をかけたいと希望される時には、施設の電話を使用して頂きます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	冷暖房を完備し、乾燥期には、加湿器を常時稼働させています。壁飾りには、利用者様の作品を飾ったり、居室には、ご家族やご本人の持ち物や、気に入られている飾りや持ち物を置かれています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	混乱を避けるために、机へ各々の名前を貼らせて頂いているが、ゲームをしたり、家事をされたり、話をされたり、ご自分達が思い思いの場所で生活されています。ご自分から行きたい場所を言われる時には、お連れしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内へは、ご自分やご家族様が持って来られて家具と寝具を置いてあります。居室は、自由に使って頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下や共有スペースへは、低い物を置かないようにし、安全に自由に動いて頂けるように配慮しています。		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム坂

作成日 令和2年5月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議へ、ご家族の参加がない。	運営推進会議へ、ご家族に参加して頂く。	毎月、ご家族へ郵送している広報誌へ、運営推進会議への案内を記載する。運営推進会議の開催月には案内を、ご家族へ順に電話連絡させて頂く。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。